

その他の蚜蟲類を保護するので有害である。

北海道に多い。

10. *Paratrechina* (*Nylanderia*) *flavipes* (F. SMITH)

アメイロアリ

立木の根際に造巣することが多いが巣が小さいので、林業上の害益は殆んどない様である。

北海道に普通である。

11. *Aphaenogaster* sp. アシナガアリの1種

寺西暢氏は北海道から *Aphaenogaster* 属の1種 [*Aphaenogaster* (*Attomyrma*) *famelica* F. SMITH] を報告して居るが、筆者等採集のものは、それとは明かに別種である、然し種名は不明なので、一時 *Aphaenogaster* sp. として取扱ふ。

北海道定山溪及び野幌原始林のトドマツの風倒木及び伐材株上で多數採集した。多湿の場所を好む性質がある。

林業上の害益は不明である。

12. *Myrmica* (*Myrmica*) *lobicornis jessoensis* FOREL

エゾクシケアリ

普通立木の根際、枯木などに造巣するが、稀に立木の枯死部にも穿孔造巣することがある。又、往々苗圃に於て苗木の根際の土中に造巣して、稚苗を枯死せしめることがある。

Cinara todocolus (INOUE) トドマツオホアブラ

C. exoana INOUE エゾマツアブラ

Todolachnus abietis MATSUMURA トドミドリオホアブラ

等の蚜蟲類を保護して有害である。

1937年8月、札幌市北海道帝國大學苗圃に於て、10年生位のトドマツ樹幹の地表に近い部分に土を以て樹幹に沿ふて隧道を構築し、その内部にトドマツオホアブラの集團を保護して居るのを見た。かゝる習性は *Lasius niger* LINNAEUS トビイロケアリでは普通に見られるものであるが、エゾクシケアリでは甚だ珍しい。

樺太、北海道共に産す。

13. *Myrmica* sp. クシケアリの1種

樺太保呂(1937年8月18日、河野採集)に於てエゾマツ倒木上で採集した。前種とは異なるが種名は目下不明である。